



2017年9月期 第2四半期 決算概要

(2016年10月1日～2017年3月31日)

取締役専務執行役員CFO

望月 渉



事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外。※印は関連会社。

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2017年3月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス及び医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) シミック・シフトゼロ(株) シミックファーマサイエンス(株) シミックキャリア(株) CMIC, Inc. CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC (Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd.
CDMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジックス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) エムディエス・シーエムジー(株) ※
ヘルスケア事業	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPM事業	革新的な手法で患者や製薬企業にソリューションを提供するプラットフォーム型事業。現在は、主に診断薬やオーファンドラッグ等の開発、販売を手がけている	シミックホールディングス(株) (株)オーファンパシフィック

●2016年10月1日付で(株)シミックBSは商号をシミックキャリア(株)に変更し、セグメントをCSO事業からCRO事業に変更いたしました。

●2016年10月1日付でCMO事業はCDMO事業に、IPD事業をIPM事業に、セグメント名称を変更いたしました。

●2017年4月1日付で(株)ヘルスクリックは商号をシミックヘルスケア(株)に変更いたしました。

Project Phoenix

~創業25周年。医療・製薬産業の変革にスピーディに対応するために~

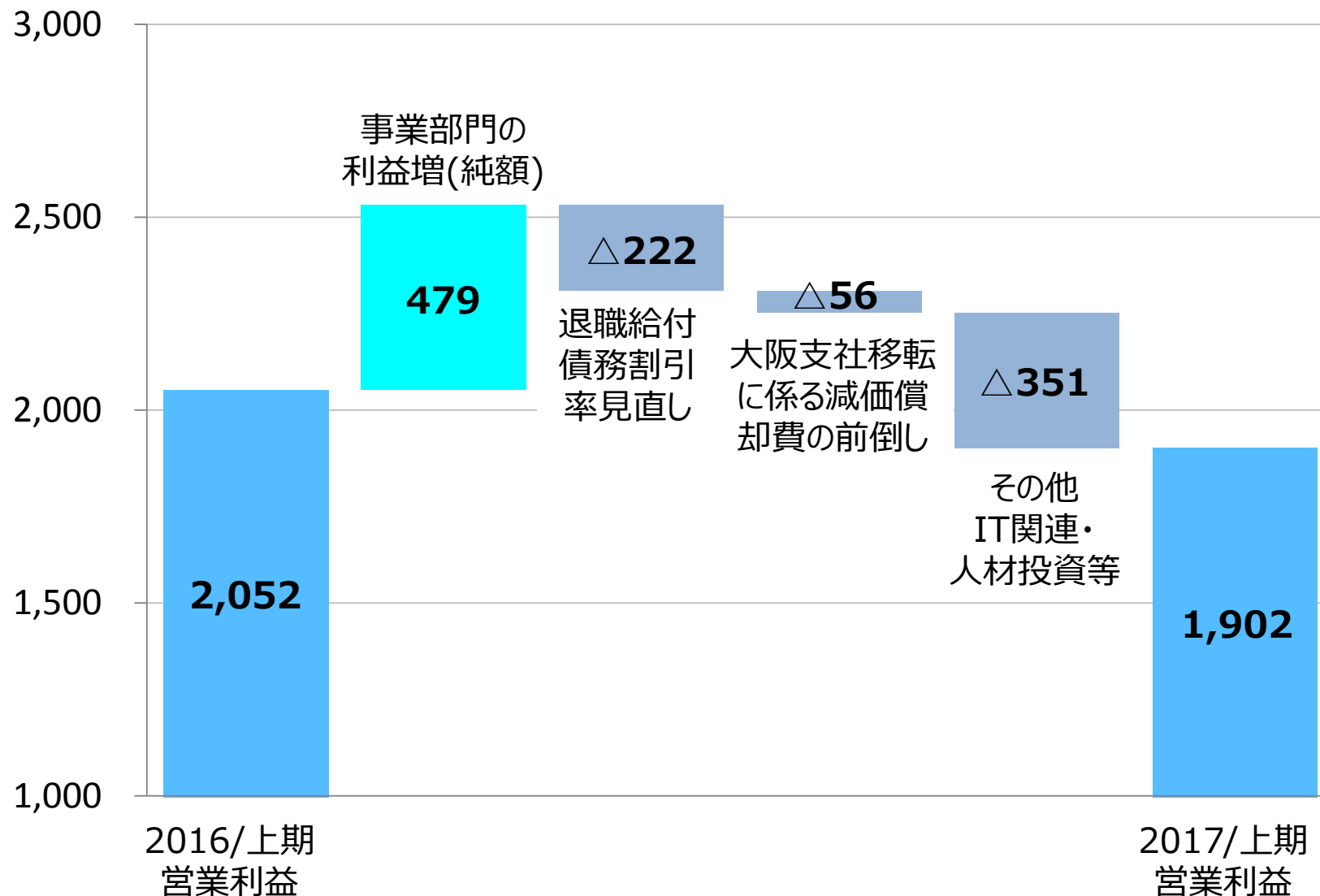
- ✓ CRO事業 臨床業務の大型案件受注
- ✓ CDMO事業 製剤開発力をはじめとする技術力の強化を図る
- ✓ CSO事業 マルチチャネルサービスを強化、MSLやコンタクトセンター業務を開始
- ✓ ヘルスケア事業 SMO業務の大幅な業績回復
- ✓ オーフアンパシフィック ジアゾキシドカプセル「MSD」販売開始

連結損益計算書（要約）

	2016/上期（実績）		2017/上期（計画）		2017/上期（実績）		対前年 増減額	対計画 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
	（百万円）	（%）	（百万円）	（%）	（百万円）	（%）	（百万円）	（百万円）
売上高	30,767	100.0	31,800	100.0	31,743	100.0	975	△56
営業利益	2,052	6.7	1,330	4.2	1,902	6.0	△150	572
経常利益	1,900	6.2	1,200	3.8	1,888	6.0	△12	688
親会社株主に帰属する四半期純利益	829	2.7	450	1.4	533	1.7	△295	83
1株当たり 四半期純利益	44円36銭		24円06銭		28円54銭			

営業利益の前年同期比 増減要因

(百万円)



営業外損益・特別損益等の内訳

			(百万円)		
	2016/上期	2017/上期		2016/上期	2017/上期
営業外収益内訳	79	158	特別損失内訳	33	366
為替差益	-	104	貸倒引当金繰入額※	-	321
受取利息	13	21	固定資産売却損	1	21
受取補償金	21	-	固定資産除却損	20	23
その他	43	32	減損損失	11	-
※ベトナム事業に関する貸倒引当金を計上しております					
営業外費用内訳	230	171	税金費用	912	900
支払利息	74	70	法人税等	972	925
持分法投資損失	48	66	法人税等調整額	△59	△24
為替差損	76	-			
その他	32	34			

セグメント別売上高および営業利益

		2016/上期 金額 (百万円)	2017/上期 金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事 業	売上高	15,782	16,508	725	4.6
	営業利益	2,693	2,913	219	8.2
C D M O 事 業	売上高	6,787	6,728	△59	△0.9
	営業利益	144	△239	△383	-
C S O 事 業	売上高	3,739	3,452	△287	△7.7
	営業利益	330	247	△82	△25.1
ヘルスケア事業	売上高	3,450	4,023	572	16.6
	営業利益	28	616	587	2,071.8
I P M 事 業	売上高	1,263	1,154	△109	△8.7
	営業利益	△16	△75	△59	-
調 整 額	売上高	△256	△124	132	-
	営業利益	△1,128	△1,560	△432	-
合 計	売上高	30,767	31,743	975	3.2
	営業利益	2,052	1,902	△150	△7.3

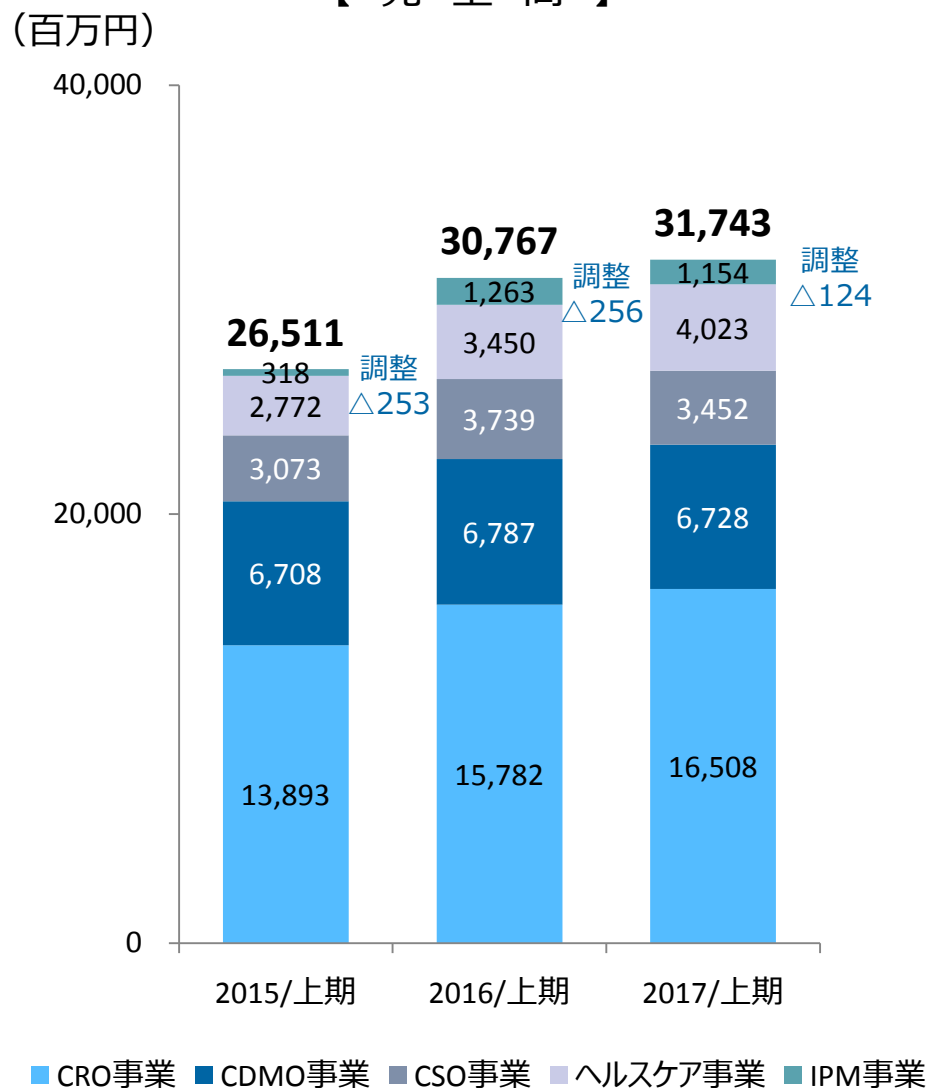
受注高・受注残高

	2016/上期		2017/上期			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	14,608	41,902	24,938	70.7	54,067	29.0
CDMO事業	7,645	4,116	7,389	△3.4	3,999	△2.9
C S O 事業	2,288	5,641	2,097	△8.4	4,239	△24.9
ヘルスケア事業	3,705	9,194	3,107	△16.1	8,596	△6.5
合 計	28,248	60,855	37,532	32.9	70,903	16.5

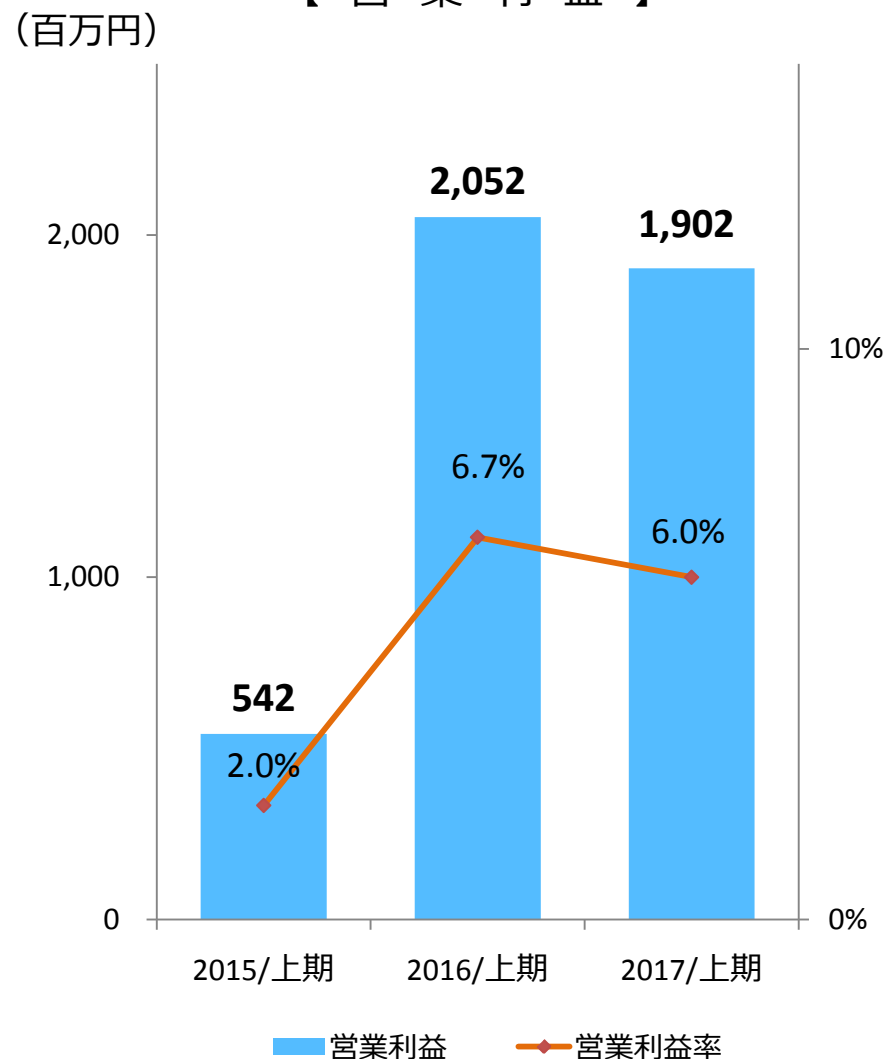
- ・CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみの計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。
- ・IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注情報から除外している。

連結売上高および営業利益の推移

【 売上 高 】



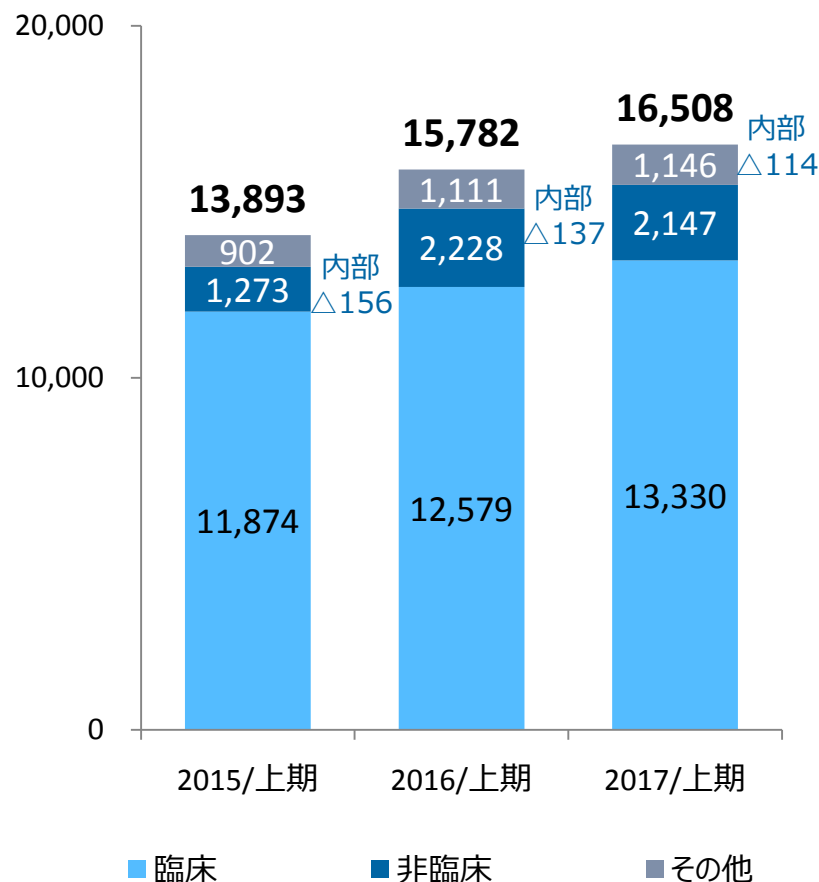
【 営 業 利 益 】



医薬品開発支援（CRO）事業

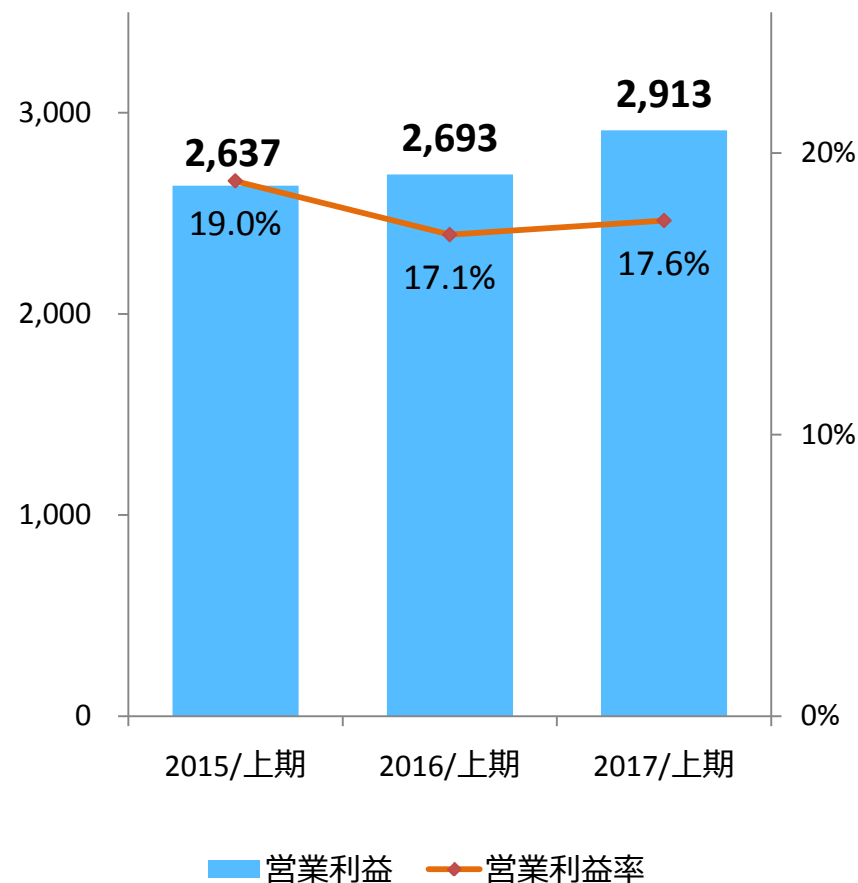
【 売上高 】

(百万円)



【 営業利益 】

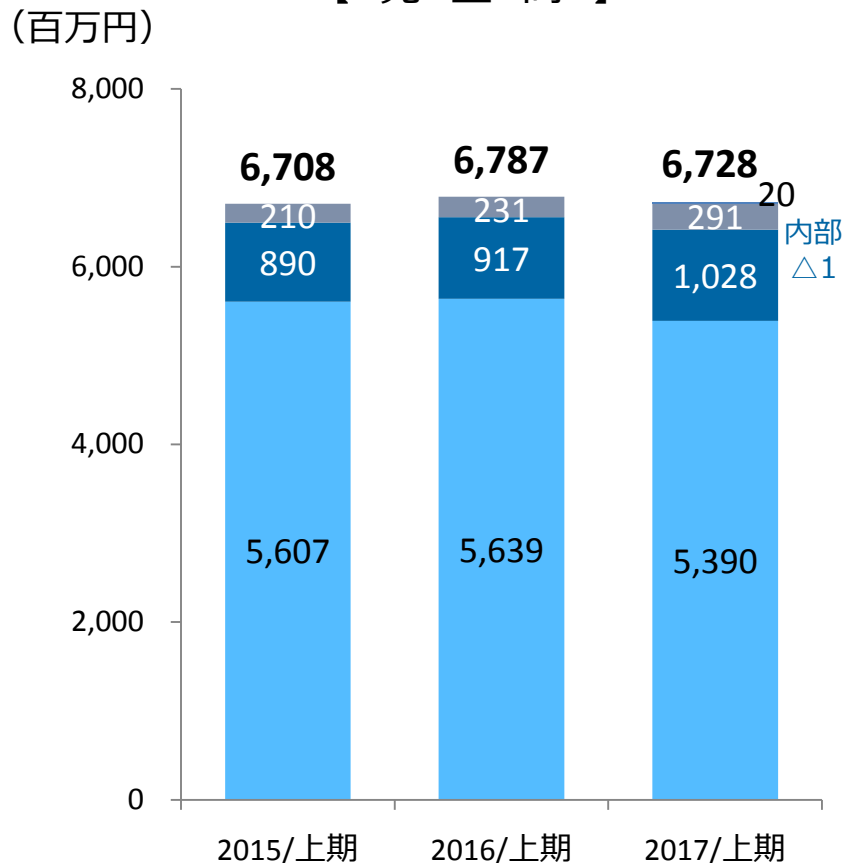
(百万円)



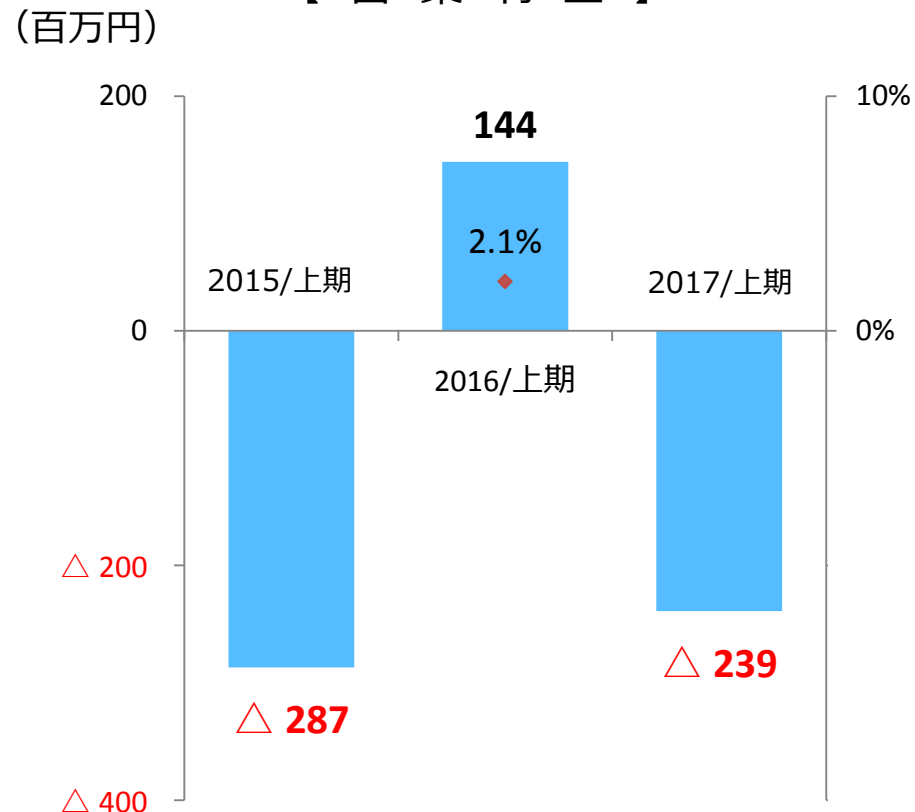
堅調な引合いに応じた人材の確保、更なる専門性と品質向上を目指した人材育成に取り組む。再生医療分野に関する支援体制を構築。非臨床業務において米国進出企業の支援など日米の連携を強化。新規受注及び既存案件が堅調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年を上回る。

医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業

【 売 上 高 】



【 営 業 利 益 】



■ CMO (日本) ■ CCU (米国) ■ CCK (韓国) ■ その他

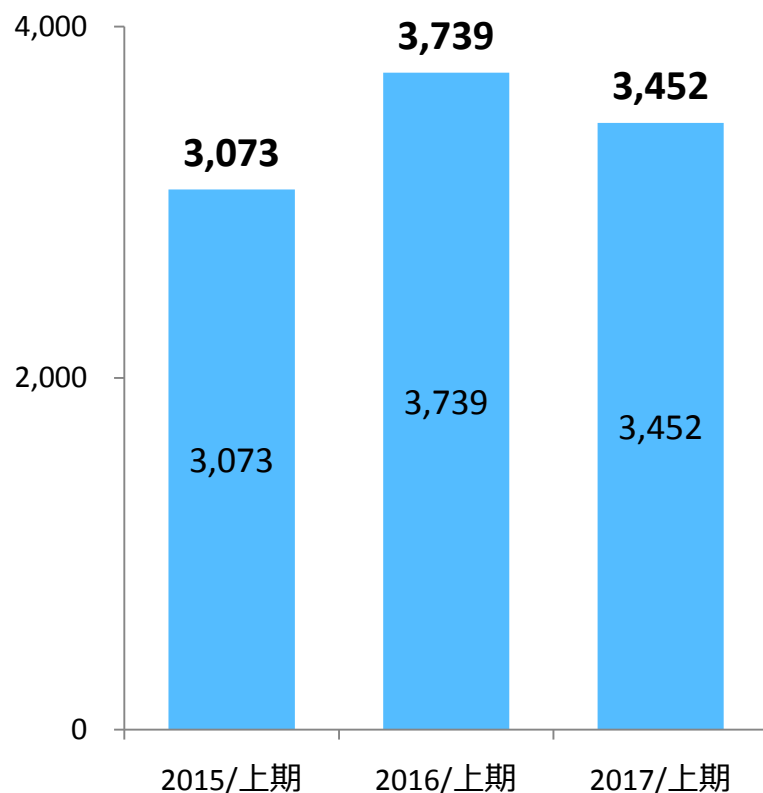
■ 営業利益 (損失) ◆ 営業利益率

価格競争力のあるコスト構造への転換によりジェネリック医薬品等の新規受託が増加、ローコスト生産体制の構築が進展。売上高及び営業利益は顧客の在庫調整の影響等により一時的に生産量が減少したことから、前年を下回り営業損失を計上。下半期より新規受注及び既存案件の受託生産が回復することから通期では期初計画通りとなる見通し。

医薬品営業支援（CSO）事業

【 売 上 高 】

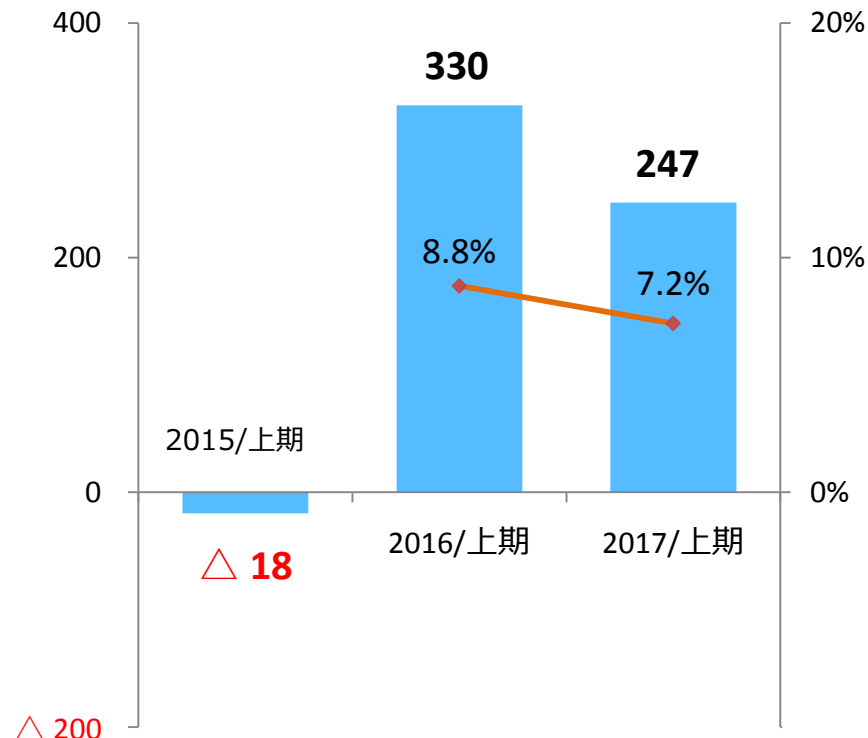
(百万円)



■ CMAS

【 営 業 利 益 】

(百万円)



■ 営業利益（損失）

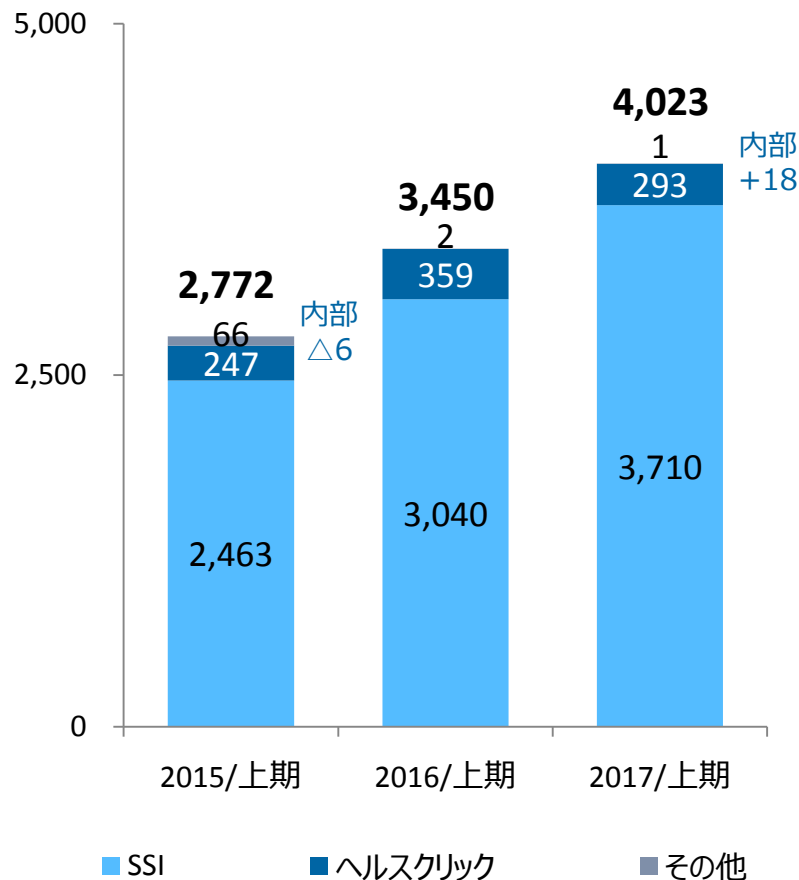
—●— 営業利益率

シミック・アッシュフィールドにおいて、受注力強化及び既存案件の着実な進行に取り組む。マルチチャネルのサービス提供を進めるなど、市場シェアの拡大を図る。アウトソーシングニーズが一時的な調整局面にあることから、売上高及び営業利益は前年を下回るが、通期ではコスト削減を図り期初計画通りの営業利益を確保する見通し。

ヘルスケア事業

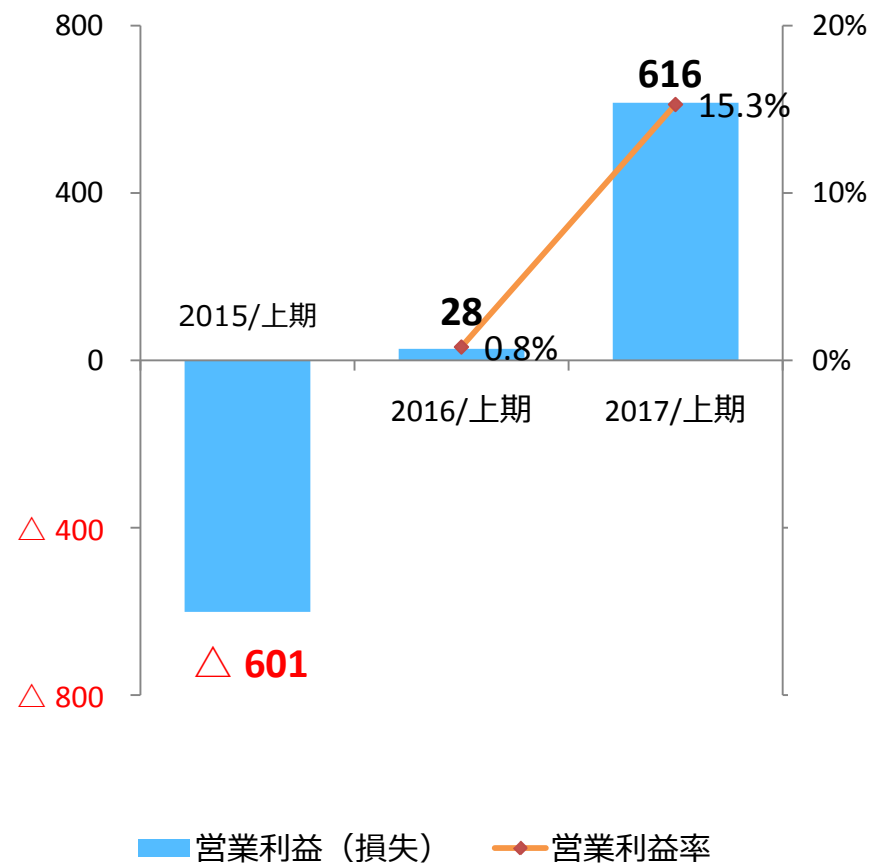
【 売 上 高 】

(百万円)



【 営 業 利 益 】

(百万円)

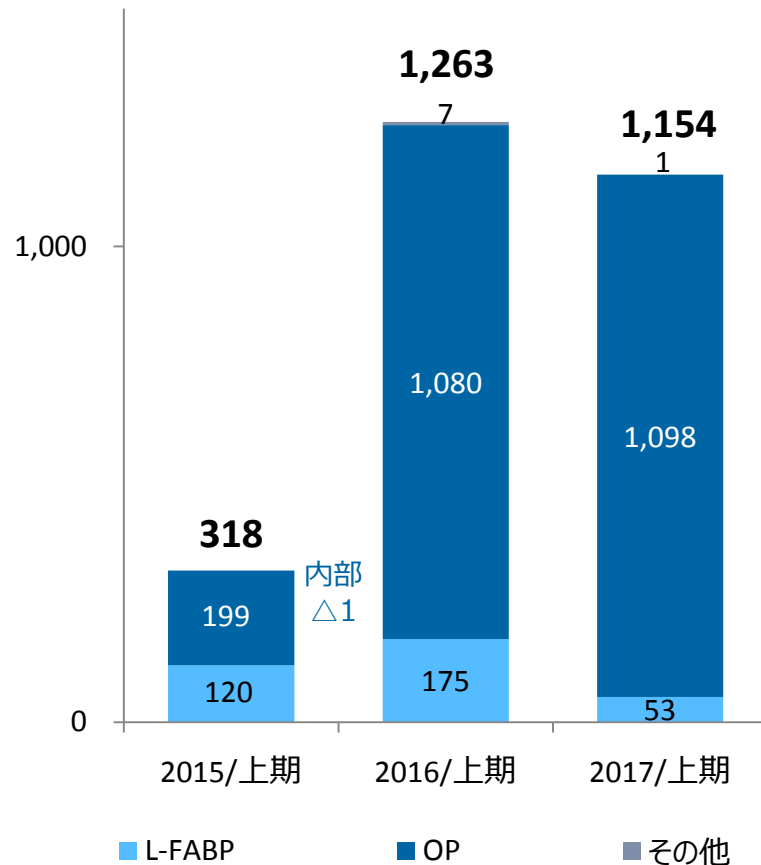


SMO業務における営業活動の一層の強化、医療機関ネットワーク拡大への取組みを通じた新規案件の獲得を推進。売上高は新規案件及び既存案件が堅調に進捗し前年を大幅に上回る。経営効率化策の継続実施により、営業利益も前年を大幅に上回る。

Innovative Pharma Model（IPM）事業

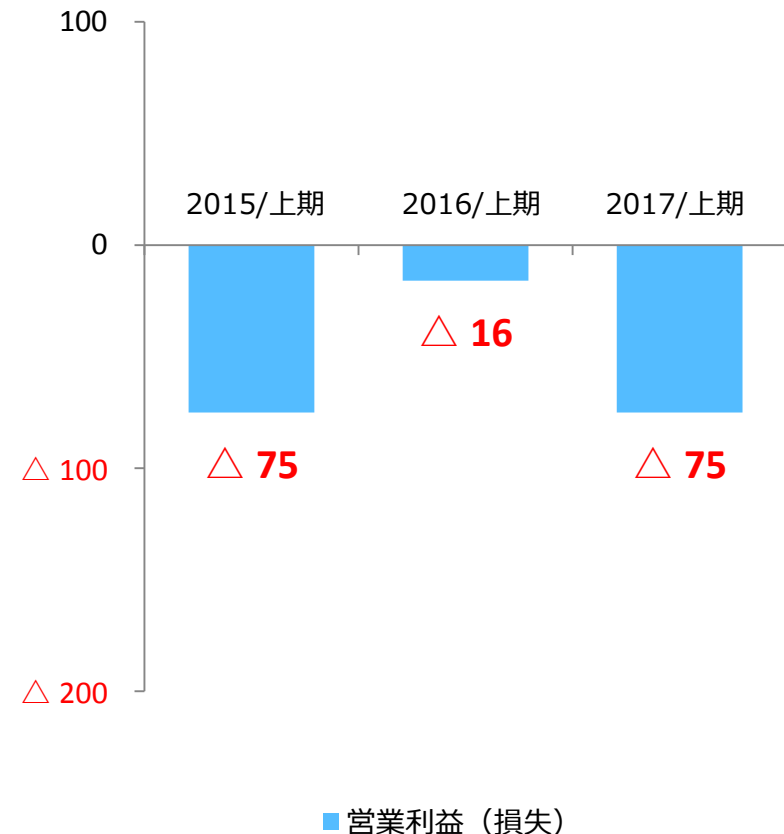
【 売 上 高 】

(百万円)



【 営 業 利 益 】

(百万円)



オーファンドラッグ等事業において、自社開発品を含む5製品を販売、製薬会社と販売移管に関する契約を締結するなど、IPM事業の基盤強化に取り組む。診断薬事業において、体外診断薬の簡易検査（Dip-test）キットの販売を開始。売上高及び営業利益は診断薬業務に関するAMEDからの委託研究減少により前年同期を下回るが、新しいソリューション提供による事業規模拡大に向けて、活発に事業開発活動を行う。

連結貸借対照表（資産の部）

(百万円)

80,000

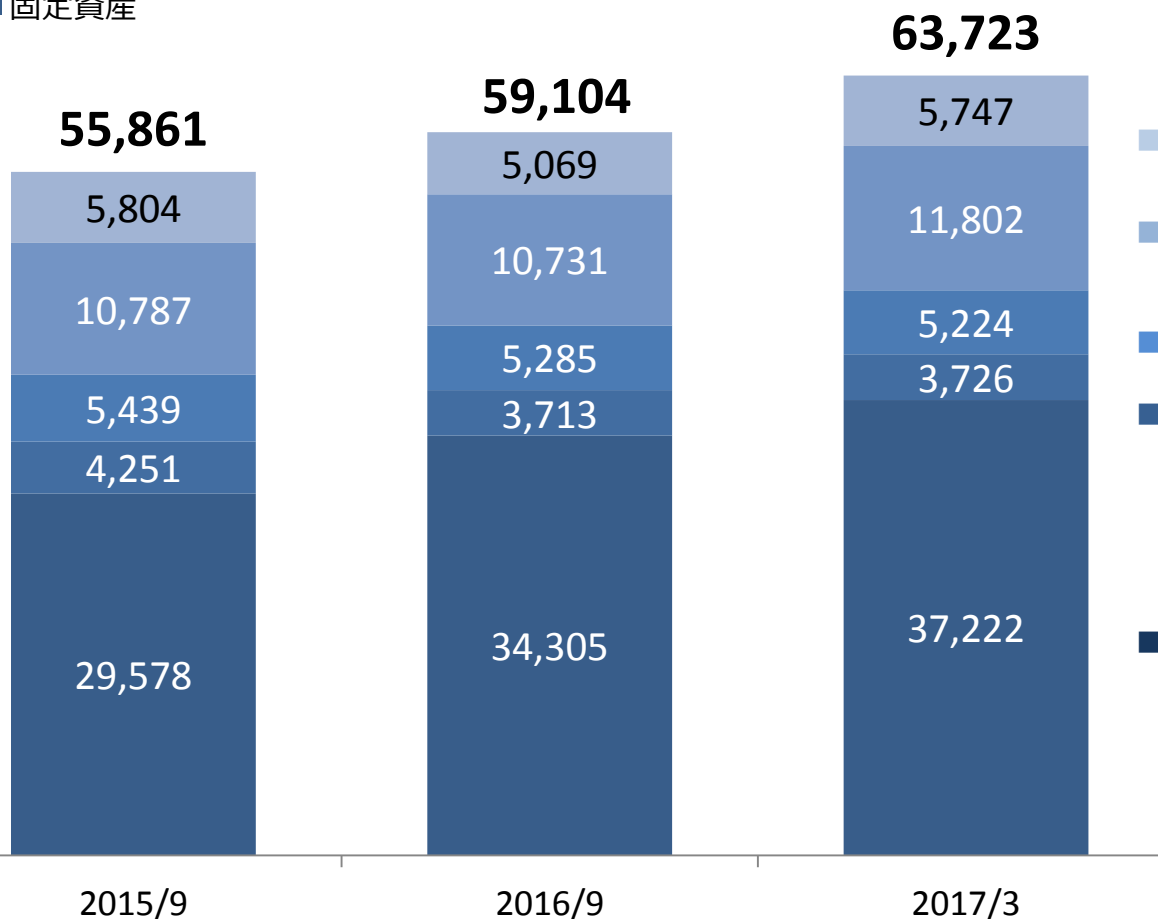
60,000

40,000

20,000

0

- 現預金
- 売上債権
- 棚卸資産
- その他流動資産
- 固定資産



総資産 +4,618

■ 現預金 +677

■ 売上債権 +1,070

■ 棚卸資産 △61

■ その他流動資産 +13

■ 固定資産 +2,917

連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）

(百万円)

80,000

60,000

40,000

20,000

0

- 仕入債務
- その他流動負債
- その他固定負債
- 有利子負債
- 純資産

55,861

1,226

9,482

6,414

18,070

20,667

2015/9

59,104

953

11,824

8,843

16,086

21,397

2016/9

63,723

1,350

11,554

8,767

19,751

22,298

2017/3

- 仕入債務 +397
- その他流動負債 △269
- その他固定負債 △75
- 有利子負債 +3,665
- 純資産 +901

キャッシュ・フロー

	(百万円)		
	2016/上期	2017/上期	増 減
営業活動によるCF	1,988	1,257	△731
投資活動によるCF	△2,072	△3,932	△1,859
財務活動によるCF	1,397	3,352	1,954
現金及び現金同等物の 換算差額	△41	103	144
現金及び現金同等物の 増減額	1,273	780	△492
現金及び現金同等物の 期首残高	5,638	4,946	△692
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	1	1
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,911	5,728	△1,182

【主な内訳】

(営業活動によるCF)

- ・ 税金等調整前四半期純利益の減少
- ・ 法人税等の支払額の増加

(投資活動によるCF)

- ・ 有形・無形固定資産の取得による支出
- ・ 投資有価証券の取得による支出

(財務活動によるCF)

- ・ 金融機関からの長期借入れによる収入

2017年9月期 通期見通し

	2016/9 実績 (百万円)	2017/9 見通し (百万円)	増減率 (%)
売上高	62,039	66,500	7.2
営業利益	3,363	3,700	10.0
経常利益	2,989	3,420	14.4
親会社株主に帰属する当期純利益	878	1,200	36.5

